

# 資源集団回収の手引き

～再生資源を集めよう～



和歌山市環境事業部 一般廃棄物課

# はじめに

現在、私たちが生活していく中で、毎日さまざまな種類のごみが大量に排出されています。

ごみには、かん、びん、紙・布、ペットボトルなどの資源として再利用することができるものがたくさん含まれています。これらのものを分別し、再利用・再資源化することで、ごみを減らすことができ、また、限りある資源を大切に使うことにもつながっていきます。

和歌山市では、ごみ減量と再資源化の促進方法のひとつとして、市民団体による資源集団回収を推奨しています。

この手引きは、資源集団回収に取り組まれている方や、今後新たに資源集団回収を始めようとしている方々に、制度について知っていただくために作成したものです。

## 目 次

1 資源集団回収とは	..... 1
2 資源集団回収をすすめるには	..... 2
3 資源集団回収の回収品目及び出し方	..... 3

# 1 資源集団回収とは

資源集団回収とは、自治会、婦人会、PTA、子供会、老人クラブなどの市民団  
体で、個人や各家庭からでる資源となるごみを持ち寄り、大量に集めて回収事  
業者に引き渡す活動です。

品目などは、「集団回収の回収品目及び出し方」の頁参照



## 資源集団回収の特徴

- 1 資源として扱うことによる、ものに対する意識改革など
- 2 作業による新たなコミュニティづくり
- 3 環境負荷の軽減
- 4 再資源化によるごみの減量とそれに伴う処分費用の軽減
- 5 再資源化の促進で、限りある資源の節約



## 資源のリサイクル

リサイクル原料から製造する場合、スチール缶スクラップを使うことで、鉄鉱  
石から鋼材を製造する場合よりも、エネルギー消費量は75%も削減できます。  
また、1トンのパルプを作るのには、約1.2トンのCO<sub>2</sub>が排出されますが、古  
紙を原料として1トンの再生紙を作るとCO<sub>2</sub>の排出量は1/4の約0.3トンにな  
ります。これらのことから、資源として集めることが資源の節約及び環境負  
担の軽減する上で、重要な活動となります。



## 2 資源集団回収をすすめるには

資源集団回収を行っていくには、日常生活の中での習慣作りが大切になってきます。それぞれのご家庭の中で、資源に生まれ変わるものは捨てず溜めるように心がけて、資源集団回収の際に出すようにしましょう。

### 資源集団回収の手順

- 1 まず、回収団体登録を行い、回収事業者と回収品目を決めましょう。
- 2 集積場所を決めます。集積場所は集積しやすい広い場所を選び、集積場所の数はなるべく1ヶ所にしましょう。
- 3 回収を円滑に進めるために、資源の整理係や回収事業者への連絡係など役割分担を決めましょう。
- 4 実施日を決定しましょう。
- 5 実施することが決まれば、回収事業者に回収品目、日時、集積場所、雨天の場合などの方法などについて相談しましょう。なお、回収事業者はいくつも団体をかけもちするため、実施日の打ち合わせは早めに行うようにしてください。
- 6 回収事業者との打ち合わせが終わると、回覧版や掲示板など地域にあった方法で実施日、持ち出し時間、品目などをお知らせしましょう。
- 7 回収当日は、決められた時間までに回収品目のものを出してください。回収品目以外のものが含まれていないか注意してください。
- 8 回収の際は、お互いが納得して資源集団回収を続けていくためにも、事業者任せにするのではなく、団体の方が何名か立ち会いましょう。



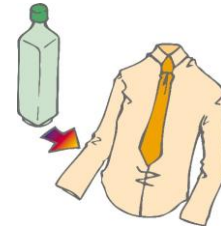
### 3 資源集団回収の回収品目及び出し方

回収品目	回収できるもの	出し方	回収できないもの
新聞 	新聞紙	折りたたんで紙ひもなどで十文字に縛る。 ガムテープで梱包しないでください。	油紙、合成紙、写真、防水加工紙、カーボン紙、感熱紙、ビニールでコーティングされたもの、紙コップなどのワックス加工したもの、水に濡れたり、食品や油等の汚れがついてしまった新聞、雑誌、段ボール
雑誌・雑がみ 	書籍全般、カタログ、チラシ、お菓子の箱、包装紙などの雑紙	紙ひもなどで十文字に縛る。 雑がみは、紙袋に入れてひもで縛るか、雑誌などのあいだにはさんでください。	
段ボール 	段ボール類	紙ひもなどで十文字にし、ばり金具は外してください。 ガムテープは外してください。	
紙パック 	牛乳パック、お酒やジュースなどのパック	洗って、開いて、乾かして、ひもで縛ってください。	プラスチック製の注ぎ口などが着いているもの、紙パック内側が銀色や茶色のもの
布類 	衣類・タオルなど	ひもでしばるか、透明または半透明の袋に入れてください	わたが入った衣類・作業着・下着など
金属類 	空きかん、なべ、かま、フライパン等の家庭金物	中を水洗いし、水切りし、つぶして出してください。 <u>空き缶はスチール缶とアルミ缶に分けてください。</u>	木等が付着したもの、家電製品、かさ、自転車、一斗缶
びん類 	ジュース、酒類、しょうゆなどの飲料びん及びリターナブルびん	キャップは外し、中を水洗いし水切りして出してください びんは色毎に分けてください	油びん・化粧びん・薬びん・陶磁器など
ペットボトル 	ペットボトル	キャップとラベルは外し、軽くすすぎ、つぶして出してください。	キャップとラベルは資源集団回収対象外のため、家庭ごみのプラスチック製容器包装の日に出してください。

# はじめよう資源回収

私たちの出すごみは、多くのエネルギーを使い処分されています。しかし、ごみと思っているものの中にも、分別されてリサイクルされれば立派な資源、財産となるものが多く含まれています。

ごみをごみで終わらせないように私たちが、力をあわせてリサイクルを推進していきましょう。



ごみも分ければ資源に早変わり！

回収の際、参考にしてください。

1kg の目安		
缶 アルミ缶	350ml (缶ビール等)	65～70 個
スチール缶	190ml (缶コーヒー等)	25～30 個
ペットボトル	500ml (お茶、ジュース等)	35～40 本
	1.5L (お茶、ジュース)	15～20 本
	2L (お茶、ジュース)	15～18 本



これから資源集団回収を始めたいと思われている方、また資源集団回収をすでに行っている方で、不明な点、疑問点があれば下記の連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ  
和歌山市環境事業部一般廃棄物課  
〒640-8511  
和歌山市七番丁 23 番地  
4 3 5 - 1 3 5 2 (直通)